



## 2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年4月5日

上場会社名 暁飯島工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1997 URL <http://www.eazima.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田 俊二  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理統括部長 (氏名) 片桐 倫明 (TEL) 029-244-5111  
 四半期報告書提出予定日 2021年4月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年8月期第2四半期の業績(2020年9月1日~2021年2月28日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	4,189	△9.9	411	△26.6	434	△23.5	295	△9.8
2020年8月期第2四半期	4,648	22.8	560	—	567	—	327	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年8月期第2四半期	148.74		—					
2020年8月期第2四半期	162.38		—					

(注) 2020年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率(営業利益、経常利益及び四半期純利益)は、会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、記載しておりません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	9,274	5,320	57.4
2020年8月期	8,795	5,119	58.2

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 5,320百万円 2020年8月期 5,119百万円

(注) 会計方針の変更に伴い、2020年8月期の各数値は遡及適用が行われております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2020年8月期期末配当金の内訳 普通配当 40円00銭 特別配当 15円00銭

## 3. 2021年8月期の業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	△4.9	610	△41.1	600	△42.4	400	△39.1	201.43

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 会計方針の変更に伴い遡及適用が行われたため、対前期増減率は遡及適用後の前期の数値を用いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、添付資料10ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年8月期2Q	2,200,000株	2020年8月期	2,200,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年8月期2Q	214,205株	2020年8月期	214,005株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年8月期2Q	1,985,895株	2020年8月期2Q	2,016,061株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
3. 補足情報	11
(1) 受注及び売上の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的感染拡大により、ロックダウンや外出自粛要請等によるヒトやモノの移動制限の影響で経済活動の停滞が続いております。また、米中の貿易と投資をめぐる緊張状態の見通しが不確実性を増しており、世界全体で景況感が悪化して経済活動が更に弱まる先行きが予想されております。

建設業界におきましては、政府建設投資及び民間建設投資は一定の水準を維持しておりますが、慢性的な技術労働者不足と建設資材の価格高騰に伴う建設コストの上昇により受注競争が激化し、依然として厳しい経営環境が続いております。また、長時間労働等、働き方改革及び生産性向上への取り組みは業界全体での課題となっております。さらに、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せないうえ、政府建設投資及び民間建設投資の動向、景気悪化による工事の中断等予断を許さない状況が続くものと思われま

す。このような状況のもと、当社は引き続き工事利益率及び営業利益率の向上を目標に、受注時採算性の強化、原価管理及び施工管理の徹底、諸経費削減などの諸施策を実施してまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績につきましては、受注高は前年同四半期比11.6%減少の34億76百万円となり、売上高も前年同四半期比9.9%減少の41億89百万円となりました。

損益面におきましては、売上高の減少及び工事利益率の悪化などから、営業利益は前年同四半期比26.6%減少の4億11百万円、経常利益も同じく23.5%減少の4億34百万円となりました。最終損益につきましても、前年同四半期比9.8%減少の2億95百万円の四半期純利益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### (設備事業)

設備事業の受注工事高は前年同四半期比11.6%減少の34億76百万円となりました。完成工事高は前年同四半期比10.1%減少の41億27百万円となり、営業利益も前年同四半期比20.1%減少の5億70百万円となりました。

#### (太陽光発電事業)

太陽光発電事業の売上高は前年同四半期比4.2%増加の62百万円となりましたが、営業利益は前年同四半期比4.1%減少の20百万円となりました。

#### (その他事業)

その他事業の売上高は前年同四半期と同じく0百万円となり、営業利益は前年同四半期比16.0%増加の0百万円となりました。

なお、各セグメントに配分していないセグメント損益の調整額は、全社費用の1億79百万円であり、主に各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期会計期間における資産は、前事業年度末に比べ4億79百万円増加し、92億74百万円となりました。その要因は、主に現金預金が7億14百万円減少したものの、売上債権が11億2百万円増加したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ2億78百万円増加し、39億54百万円となりました。その要因は、主に未払法人税等が1億4百万円減少したものの、仕入債務が7億66百万円増加したことによるものであります。

また、純資産は、前事業年度末に比べ2億円増加し、53億20百万円となりました。その要因は、主に四半期純利益の計上に伴う利益剰余金が1億86百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、10億14百万円減少し33億71百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益を計上し、仕入債務が増加したものの、売上債権が増加したことなどから4億74百万円の支出超過（前年同四半期は60百万円の収入超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出などから2億39百万円の支出超過（前年同四半期は39百万円の収入超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済及び配当金の支払いなどから3億円の支出超過（前年同四半期は25百万円の収入超過）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の業績予想につきましては、現時点において新型コロナウイルス感染症の拡大による影響はないものと考えており、2020年10月13日の「2020年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて公表いたしました通期の業績予想を据え置くこととしますが、もし修正すべき事実が発生した場合速やかに開示いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	4,399,951	3,684,986
受取手形・完成工事未収入金等	1,061,827	2,164,072
有価証券	35,415	—
未成工事支出金	81,342	123,999
その他	118,863	293,239
貸倒引当金	△14,790	△29,410
流動資産合計	5,682,610	6,236,887
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	1,190,089	1,190,089
減価償却累計額	△744,996	△759,959
建物・構築物(純額)	445,093	430,129
機械及び装置	459,225	459,225
減価償却累計額	△109,706	△130,328
機械及び装置(純額)	349,518	328,897
土地	1,866,005	1,866,005
その他	21,274	22,150
減価償却累計額	△17,656	△18,471
その他(純額)	3,617	3,679
有形固定資産合計	2,664,235	2,628,711
無形固定資産		
投資その他の資産	16,369	13,270
投資有価証券	331,473	323,397
繰延税金資産	49,739	26,243
その他	120,481	115,590
貸倒引当金	△69,640	△69,500
投資その他の資産合計	432,054	395,731
固定資産合計	3,112,658	3,037,713
資産合計	8,795,269	9,274,601

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,753,155	2,519,540
1年内返済予定の長期借入金	271,532	250,532
1年内償還予定の社債	100,000	90,000
未払法人税等	236,557	131,807
未成工事受入金	227,148	190,193
完成工事補償引当金	9,500	8,960
賞与引当金	110,070	70,120
役員賞与引当金	15,170	—
その他	143,533	39,790
流動負債合計	2,866,667	3,300,944
固定負債		
社債	170,000	130,000
長期借入金	540,768	420,752
退職給付引当金	95,942	99,771
その他	2,576	3,016
固定負債合計	809,287	653,540
負債合計	3,675,954	3,954,484
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,408,600	1,408,600
資本剰余金	26,039	26,039
利益剰余金	3,855,838	4,041,991
自己株式	△189,069	△189,069
株主資本合計	5,101,408	5,287,561
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,906	32,554
評価・換算差額等合計	17,906	32,554
純資産合計	5,119,315	5,320,116
負債純資産合計	8,795,269	9,274,601

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	4,588,673	4,127,052
その他の事業売上高	60,216	62,713
売上高合計	4,648,890	4,189,766
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	3,770,615	3,452,168
その他の事業売上原価	38,495	41,837
売上原価合計	3,809,111	3,494,005
<b>売上総利益</b>	839,778	695,760
<b>販売費及び一般管理費</b>		
従業員給料及び手当	109,970	102,991
賞与引当金繰入額	25,660	27,480
退職給付費用	5,460	6,005
貸倒引当金繰入額	5,260	14,620
その他	133,217	133,401
販売費及び一般管理費合計	279,568	284,499
<b>営業利益</b>	560,210	411,261
<b>営業外収益</b>		
受取利息	1,057	15
受取配当金	3,705	3,366
投資有価証券売却益	1,701	9,017
投資有価証券償還益	4,371	—
仕入割引	443	559
受取地代家賃	4,392	4,351
貸倒引当金戻入額	4,200	10
受取損害保険金	—	15,780
その他	3,627	5,914
営業外収益合計	23,499	39,014
<b>営業外費用</b>		
支払利息	9,058	5,450
有価証券償還損	—	1,011
有価証券評価損	1,370	—
投資有価証券売却損	3,635	8,868
その他	1,755	563
営業外費用合計	15,819	15,893
<b>経常利益</b>	567,889	434,382

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年9月1日 至2020年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自2020年9月1日 至2021年2月28日)
<b>特別利益</b>		
国庫補助金	—	1,555
有形固定資産売却益	114	—
特別利益合計	114	1,555
<b>特別損失</b>		
有形固定資産除却損	90	—
固定資産圧縮損	—	1,555
投資有価証券評価損	62,665	—
会員権評価損	1,500	—
特別損失合計	64,256	1,555
税引前四半期純利益	503,748	434,382
法人税、住民税及び事業税	179,306	121,772
法人税等調整額	△2,918	17,228
法人税等合計	176,387	139,000
四半期純利益	327,360	295,382

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	503,748	434,382
減価償却費	42,850	39,984
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,060	14,480
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	810	△540
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△9,051	△39,950
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△11,060	△15,170
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	210	3,828
受取利息及び受取配当金	△4,763	△3,381
支払利息	9,058	5,450
有価証券償還損益 (△は益)	—	1,011
有価証券評価損益 (△は益)	1,370	—
投資有価証券売却損益 (△は益)	1,934	△149
投資有価証券評価損益 (△は益)	62,665	—
投資有価証券償還損益 (△は益)	△4,371	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△114	—
国庫補助金	—	△1,555
有形固定資産除却損	90	—
固定資産圧縮損	—	1,555
会員権評価損	1,500	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△388,301	△1,083,371
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	10,364	△42,656
仕入債務の増減額 (△は減少)	122,994	766,385
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	105,486	△36,954
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△48,510	△110,979
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△34,879	△102,515
その他	△147,677	△77,951
小計	215,413	△248,096
利息及び配当金の受取額	4,754	3,379
利息の支払額	△9,138	△5,560
法人税等の支払額	△150,090	△224,704
営業活動によるキャッシュ・フロー	60,938	△474,981
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△300,000
有形固定資産の取得による支出	△1,515	△876
有形固定資産の売却による収入	174	—
無形固定資産の取得による支出	△2,100	△1,900
投資有価証券の取得による支出	△79,807	△60,866
投資有価証券の売却及び償還による収入	121,826	124,330
その他	629	306
投資活動によるキャッシュ・フロー	39,207	△239,005

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	370,000	—
長期借入金の返済による支出	△202,520	△141,016
社債の償還による支出	△50,000	△50,000
配当金の支払額	△91,578	△109,961
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,901	△300,977
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	126,046	△1,014,964
現金及び現金同等物の期首残高	3,731,587	4,386,951
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,857,634	3,371,986

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(費用計上区分の変更)

当社は、第1四半期会計期間から、従来完成工事原価で処理していた技術部門について、販売費及び一般管理費で処理する方法に変更しております。経営環境の変化に迅速に対応するため、当事業年度期首から営業部門及び施工部門をサポートする管理体制の強化を目的として、組織体制を変更しております。この変更の過程において、当社の費用の発生状況と工事収益との関連を明確に反映させることがより有用な情報開示に資すると判断し行ったものであります。

当該会計方針の変更は遡及適用され、前事業年度については遡及適用後の財務諸表となっております。この変更により、前事業年度の貸借対照表は未成工事支出金が1,585千円減少しております。また、前第2四半期累計期間の四半期損益計算書は完成工事原価が37,817千円減少し、販売費及び一般管理費が38,803千円増加することにより、営業利益、経常利益、税引前四半期純利益及び四半期純利益がそれぞれ985千円減少しております。

前第2四半期累計期間の四半期キャッシュ・フロー計算書は、税引前四半期純利益及び未成工事支出金の増減額がそれぞれ985千円減少しております。

なお、前事業年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期期首残高は3,112千円減少しております。

## 3. 補足情報

## (1) 受注及び売上の状況

## ①受注実績(累計)

区分	前第2四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)		当第2四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)		増減 (△は減)		(参考) 前事業年度 (2020年8月期)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
設備事業								
建築設備工事	2,294,408	58.4	2,180,240	62.7	△114,168	△5.0	4,255,363	56.0
リニューアル工事	1,566,753	39.8	1,232,213	35.5	△334,540	△21.4	2,996,616	39.4
土木工事	—	—	—	—	—	—	—	—
プラント工事	—	—	—	—	—	—	—	—
ビルケア工事	69,524	1.8	63,554	1.8	△5,970	△8.6	347,850	4.6
設備事業合計	3,930,686	100.0	3,476,007	100.0	△454,678	△11.6	7,599,830	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## ②売上実績(累計)

区分	前第2四半期累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)		当第2四半期累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)		増減 (△は減)		(参考) 前事業年度 (2020年8月期)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
設備事業								
建築設備工事	2,174,436	46.8	2,240,957	53.5	66,521	3.1	3,743,349	44.5
リニューアル工事	2,234,000	48.0	1,714,359	40.9	△519,640	△23.3	4,179,558	49.7
土木工事	—	—	—	—	—	—	—	—
プラント工事	—	—	—	—	—	—	—	—
ビルケア工事	180,236	3.9	171,736	4.1	△8,500	△4.7	350,005	4.2
設備事業合計	4,588,673	98.7	4,127,052	98.5	△461,620	△10.1	8,272,913	98.4
その他の事業								
太陽光発電事業	59,616	1.3	62,113	1.5	2,496	4.2	136,930	1.6
不動産事業	600	0.0	600	0.0	—	—	1,200	0.0
その他の事業合計	60,216	1.3	62,713	1.5	2,496	4.1	138,130	1.6
合計	4,648,890	100.0	4,189,766	100.0	△459,123	△9.9	8,411,043	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。